

# SHINING FORCE



# SHINING FORCE

© TOSHIHIRO ONO ©  
1992







SHINING FORCE

# CONTENTS

#1	Xがマックス	5
#2	古えの士成	15
#3	ギガ・カイン	35
#4	失われた記憶	59
#5	対暗黒反法剣	87
#6	神々の遺産	167





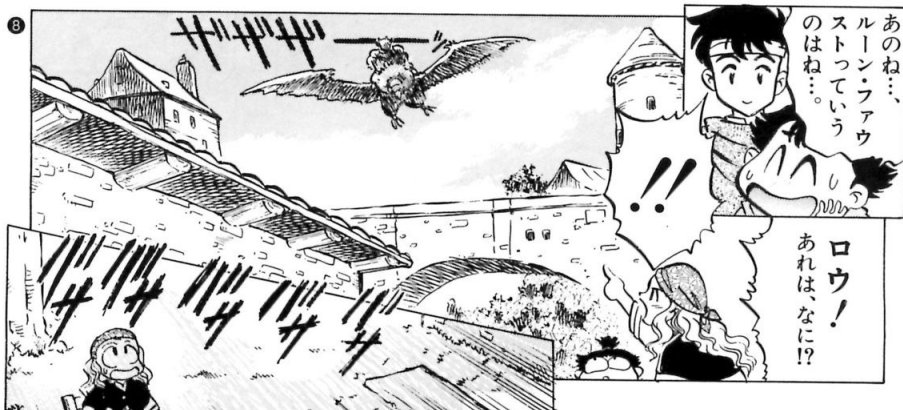
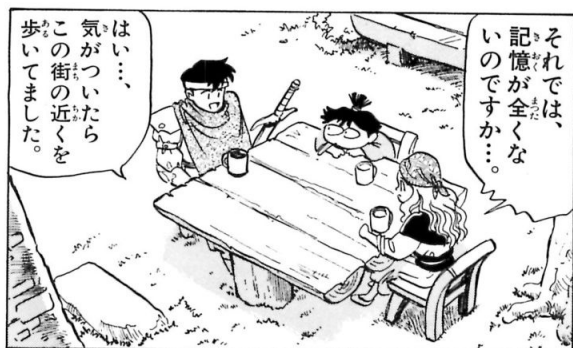


ガーディアナの町









ついに<sup>み</sup>見つけたぞ、  
マ〜ックスめ!!

ル、ルーン・  
ファウスト軍の  
ゴ布林だわ!!

くつくつく、  
こんな所で  
おまえに  
会えるとは  
な...  
手<sup>ひと</sup>がら、一人  
じめだ...

おまえの  
ことだよ、  
おまえ!!

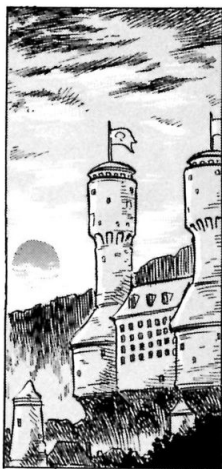
聞いてるのか!?  
マ〜ックス。











なに!?  
謎の剣士  
だ...

ゴブリンを  
一撃のもとに  
うちたおし...

記憶の  
ない  
少年...

うむ  
...

正体は  
わからぬが、  
少なくとも  
ルーン・ファウスト  
の者ではない。

闇の力にあやつら  
れた、ルーン・  
ファウストが、  
明日にでも  
攻めてくるかも  
しれぬ今...

その剣士は、  
わがガーディア  
ナ国に、神が  
つかわせた  
強力な味方  
かもしれん。

案内せい、  
その男の  
もとへ!!

ルウさんの  
スープ  
とっても  
おいしい  
です!

やだあ、  
マックス  
さんたら  
.....

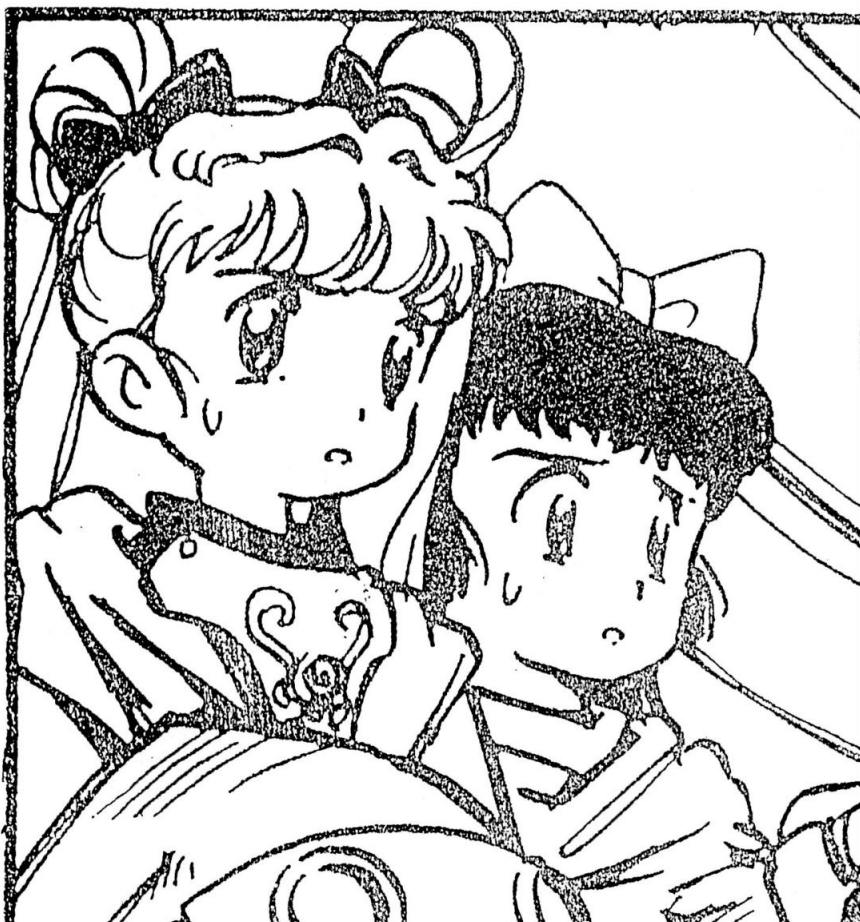
強力.....  
ですか?

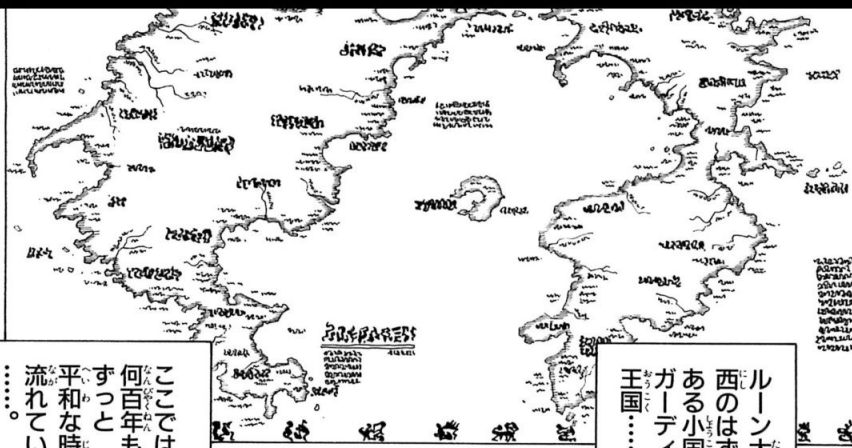
グー  
む



ちよと＃1を描いたころ「ようにように」に  
 リマリまくっていたのこのマックスのロゴセが  
 「はい！」になってしまった・・・  
 ちよととどいよね

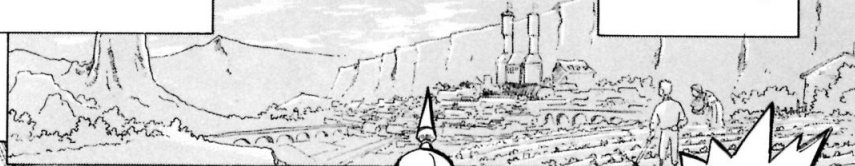
▶田沼先生の「山」にもおられた2人(笑)正式なメンバーか？





ルーン大陸の  
西のはすれに  
ある小国、  
ガーディアナ  
王国……。

ここでは、  
何百年もの間  
ずっと  
平和な時間が  
流れていた  
……。



ところが……。

ガーディアナに  
向かって、  
強大な軍事大国  
ルーンファウストが  
侵攻を  
開始した!!

今、  
ガーディアナ王国は  
未曾有の  
脅威に  
さらされていた!!

彼らの  
目的は、  
いったい  
何か!?





ガーディアナ  
王国







たのもし  
い男だ…

記憶を  
失った  
あの男が、  
この国に  
あらわれて  
一年…

わかつた  
ことは、  
「マックス」  
という名と  
剣の腕前  
だけ…



ま、  
それだけ  
わかれは  
十分か  
…

バリオスさま!

至急、  
城内に  
おもどり  
ください!

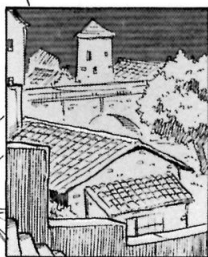
!?

何か  
起こったのか!?

早い  
ものね。

マックス  
さんが  
うちに来て、  
もう一年が  
たつなんて  
…

はい!  
早いです。







そのころ  
城内では。

なんですと!?

ルーン  
ファウスト軍が  
古えの城を  
さぐって  
いると!!

これは、  
ゆゆしき  
事態だ。

古えの城の  
奥深くに  
眠るといわれる  
「神々の遺産」  
……。

あれが、  
やつらの  
手に  
わたって  
しまったら  
……。

ブク

さっそく  
一大隊の  
討伐軍  
を!

いや、待て!  
へたに  
刺激すれば、  
やつらに  
全面戦争の  
口実を  
与えるだけ。

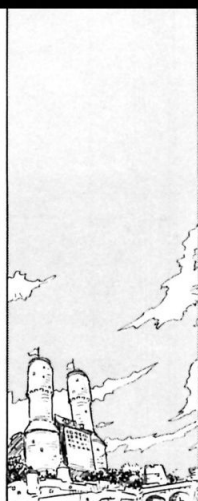
ここは、  
少数精鋭の  
調査隊を!

だれか、  
適任者が?

おります!

あの男  
なら!

やっつけてくれます!!



古えの城は、  
ガーディアナの  
建国よりも  
ずっと昔…。

言い伝えに  
よれば、  
千年も  
前に栄えた  
文明の  
名残りだ  
そう…。



じゃあ、  
「神々の遺産」  
というの  
は古代人の  
残した宝物  
なんですか？

それは  
どうかな。

おそろしい  
兵器かも  
しれん。

どちらにしろ、  
人が  
ふれては  
いけない、  
神聖な  
ものののだ。



そして、わが  
ガーディアナは  
その「遺産」の  
封印を、代々  
守ってきた。

たのむぞ、  
マックス。

はい！

とてつもなく  
おそろしい  
ことが  
起こる予感が  
する…。



やすやすと  
ルーンファウストに  
わたすわけには  
いかんだ。

今回のこと、  
わしには  
いやな  
予感がして  
しかなかった。



バリオスさま！  
勇者が  
そろいました！









しかし、  
いくら  
パリオスさまが  
あんたを  
高くかって  
いようが…

おれは、  
正体不明の  
男を  
仲間にする  
つもりは  
ない！



あんたの  
うわさは、  
よく  
聞いてるよ。



あばよ。

ハンスさん！



おれは  
パリオスさまの  
顔をたてて  
ここにきた  
だけだ。



あいつの一族は、  
有名な  
貴族エルフで、  
気位が  
高いのさ。

あたいたち  
みたいに、  
下々の者とは  
いっしょに  
いたくないって  
わけさ。



ほっときなよ。

タオさん。

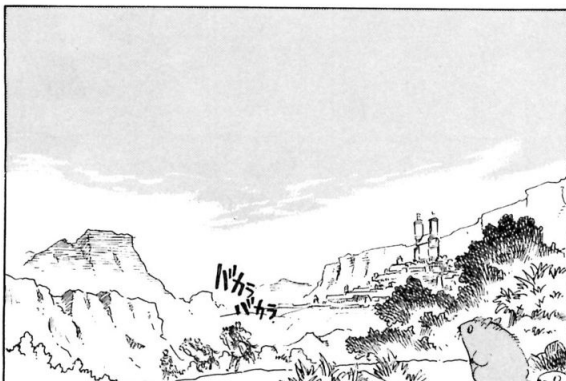
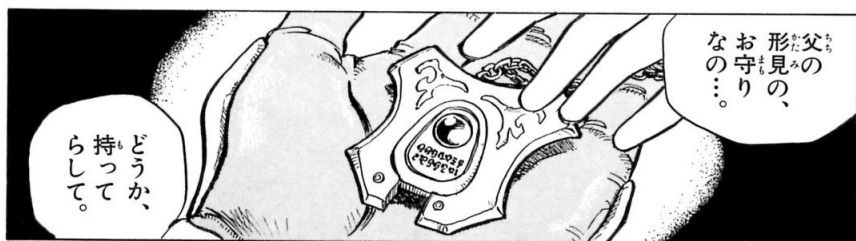


はい！

では、  
調査隊は  
明朝出発だ。



しかた  
はないの。





マックス！

昼すぎには  
着くと  
思うが…

やつらは、  
夜行性の  
連中が多い。

陽が  
落ちる  
前には、  
引きあげ  
ような。

はい！  
ラグさん。

タオさん。

ん？

むねが  
大きい  
ですね。

な

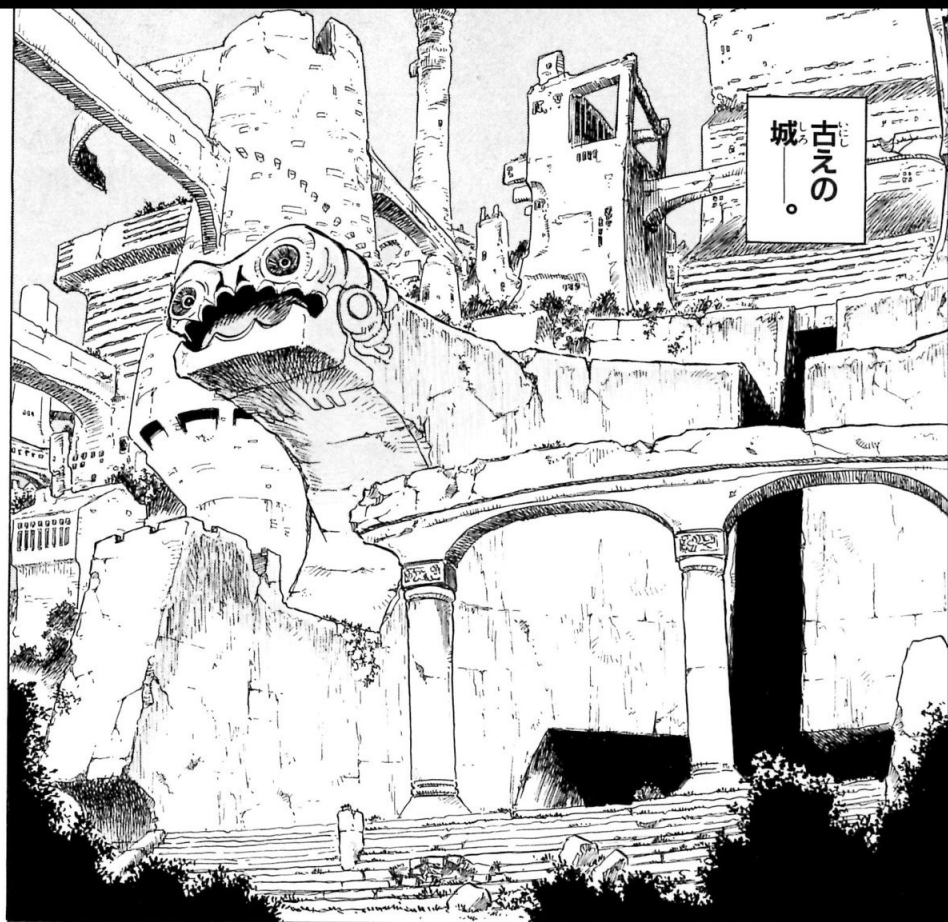
ぶるん  
ぶるん  
ゆれてます。  
ハイ

ばかやろうめ  
ど二重でだめ

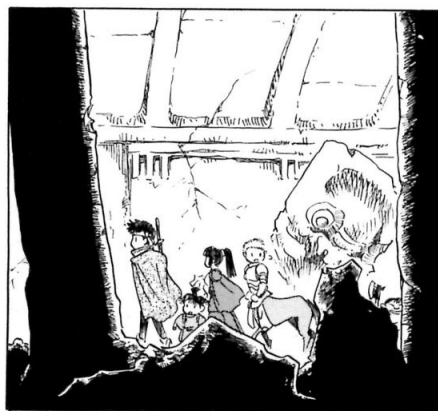


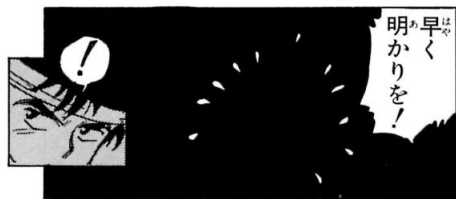






城の古えの。

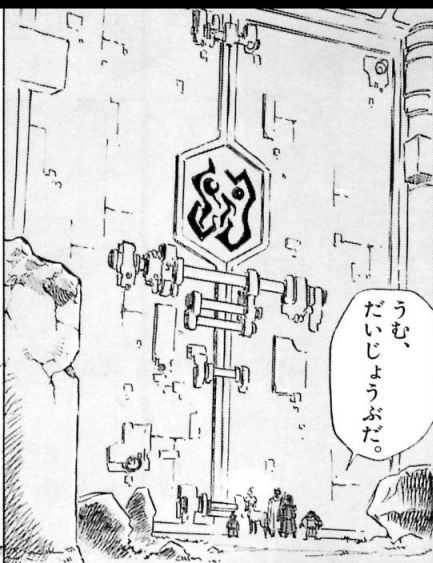




早く  
明かりを!



110



うむ、  
だいじょうぶだ。

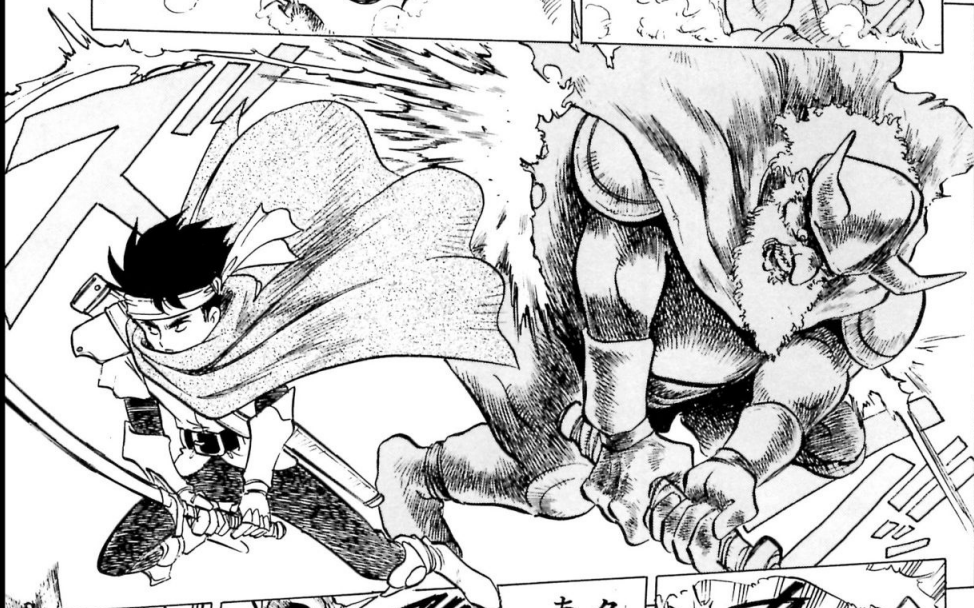


おまえたち、  
ガーディアナの  
者だな!!

しまった!  
110  
いつの間に!!







まったく、  
見てらん  
ないぜ。

ハンスさん。

来て  
くれたん  
ですわね！

たいへんだ、  
兄ちゃん！

バリオスさまの  
たのみだから  
しかたなくな。

街が…！  
街が…！  
燃えてるよ！！

ガーディアナが  
燃えてるんだ！！

なん  
だって！？



ガールディアナ  
王国

バクッ  
バクッ



くそつ、  
ルーン  
ファウストめ！

おれたちが  
いない間に  
城を攻める  
とは！！

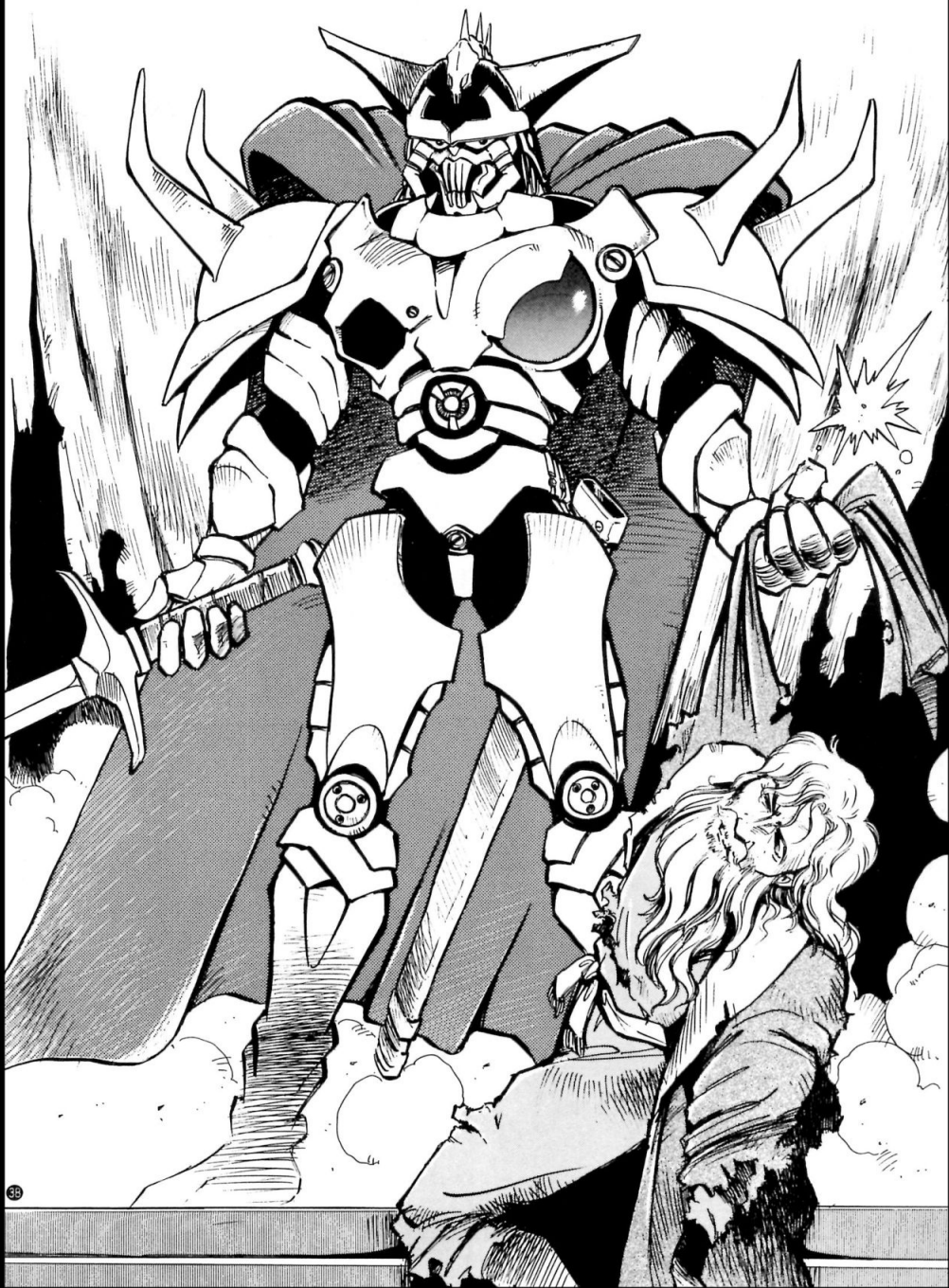


姉ちゃん  
……















ま、待て！

おれおれ。



我が名は、  
ギガ・カイン。

次に  
会ったときが、  
ささまの  
最期だ！  
メガ・マックス。



Xが！  
マックス？

消えた…。

次に  
会ったときが、  
きさまの  
最期だ！  
メガ・マックス。

メガ・  
マックス  
……

それが、  
おれの  
名前  
なんだ  
ろうか……

しかし、  
なぜ  
あの男が



おれの  
失った過去と、  
何か関係が  
……



マックス  
兄ちゃん。

姉ちゃん、  
姉ちゃんが  
さらわれ  
ちゃったよ。



え？  
ルウさんが！



ルーン  
ファウストに  
さらわれるのを  
見た人が  
……

ルウさん







マークス!



やつら、  
北へ向かった  
らしい!

ルーン  
ファウストの  
動きが  
わかったよ!

どうする?  
マックス。



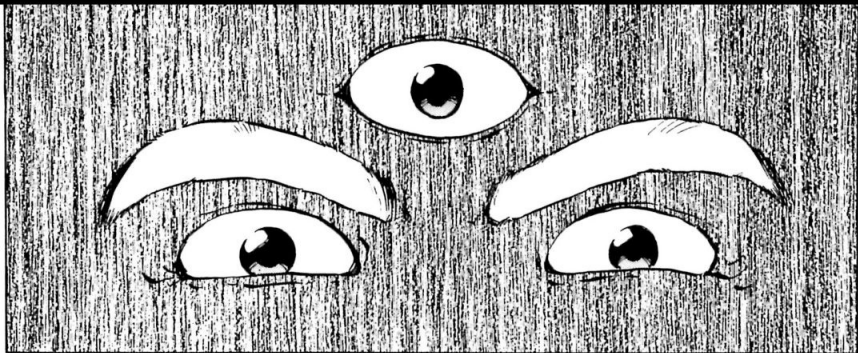
兄ちゃん。

あ、  
マックス!

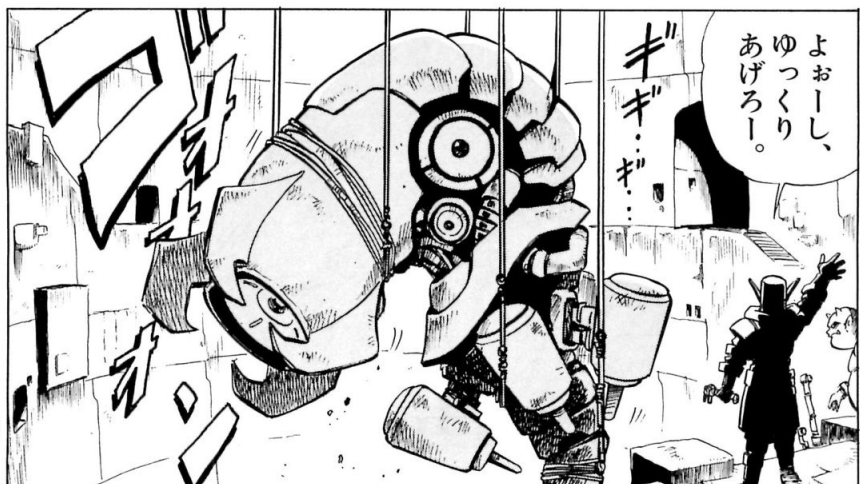


奴等は  
なぜ  
ルウさんを?





ハストーク  
廃鉱山



あれは!?



前世紀の  
古代呪器!

ルーン  
ファウストめ、  
とんでもない  
物を  
掘りだしてる。

現在の  
「精霊魔法」は、  
自然と  
同化することで  
得る力  
だけ……



「疑似魔法」だよ。

なんですか、  
タオさん  
それは?



「疑似魔法」って  
いうのは、  
自然を  
数式で壊して、  
人の都合のいい  
形にする  
悪しき呪文さ。

Σ(っ;°△°)ノ

疑似魔法の  
せいで、  
1000年前  
世界は  
焦土と化した。



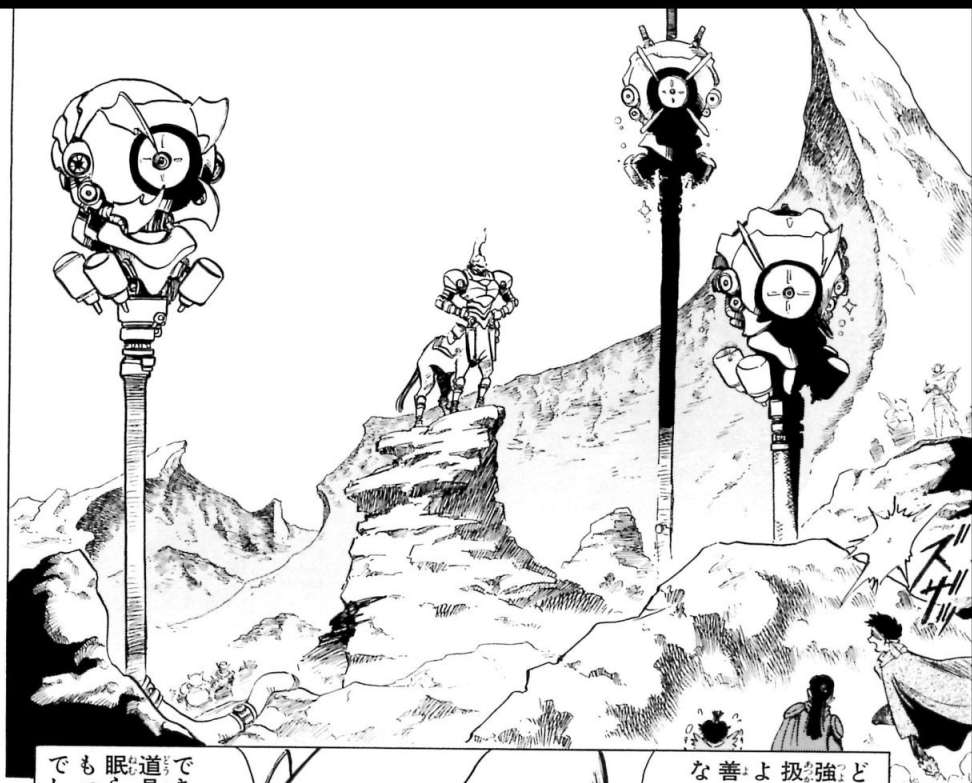
あいつら、  
もう一度  
世界を  
滅ぼす気か!!



それは  
まちがいだよ、  
お嬢さん……







どんなに  
強い炎も、  
扱(さ)う人間に  
よっては  
善い力に  
なるんですよ。

できのよい  
道具を  
眠(ね)らせておくのは、  
もったいない  
でしょう？

ガーディアナを  
焼(や)いといて、  
今(いま)さら！

おやおや、  
ガーディアナの  
人(ひと)たち  
ですか…。

悪い芽(え)は、  
早(はや)めに  
つみとるのが  
責任者(せきにんしや)の  
務(つと)め…。

この  
秘密(ひみつ)を  
知(し)ったからには、  
あなたたちも  
つみとらせて  
もらいます。



なんと!

古代呪器の  
熱針光を  
よけるとは!

ドク

ニキ

ニキ





メガ・  
マックス。

そうか、  
おまえが  
……









39

だが、  
ある日突然、  
国王ラムラドゥ  
さまの  
心がわりによって  
国は一変して  
しまった...

それも、  
すべて  
あの男の  
せいだ...







「ある男」って  
カインのこと？

いや、  
ちがう…。

カイン殿は  
……。

マックスの  
……。



巨大な  
魔法障壁だ！

あれじゃ、  
東の大陸に  
わたれない！

おかしい  
具合に  
なってきたや  
がったぜ。

急いで、  
マックスさん  
たちと  
合流しましょう。

ルーン  
ファウストめ、  
海上封鎖の  
つもりか？



あんな巨大な魔法障壁をつくれるなんて……

あの壁がある限り、東の大陸には近づくこともできないのか……

ルーンファウストでは、とんでもないことが起こっているに違いない……

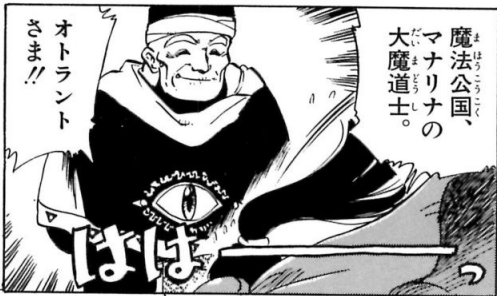
ね



なんだ？  
じいさん。

そうでもないぞよ。

フオオッ



魔法公国、マナリナの大魔道士。

オトラントさま!!

はは



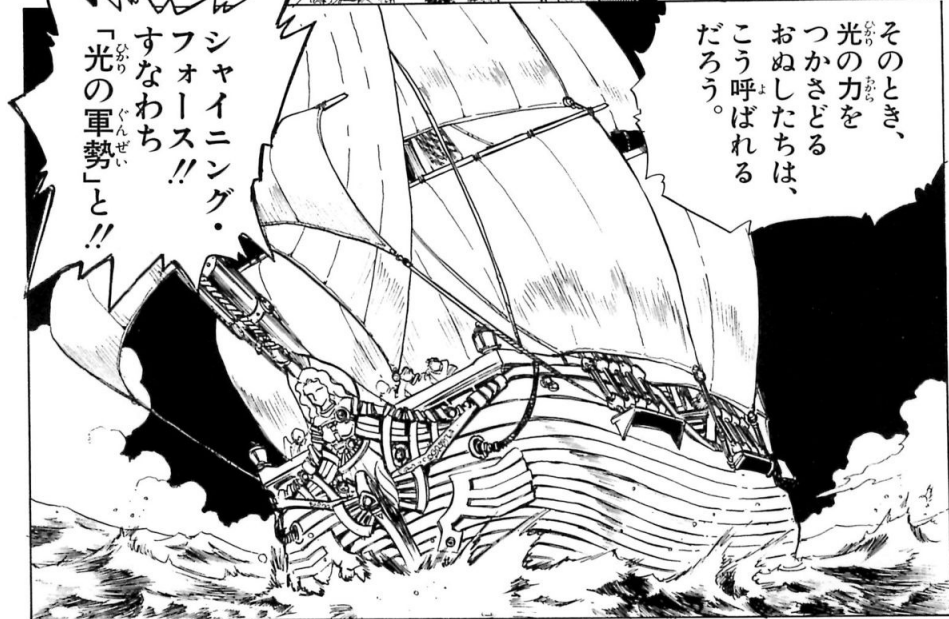
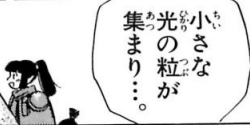
世界中の魔道士の頂点に立つお方だよ。



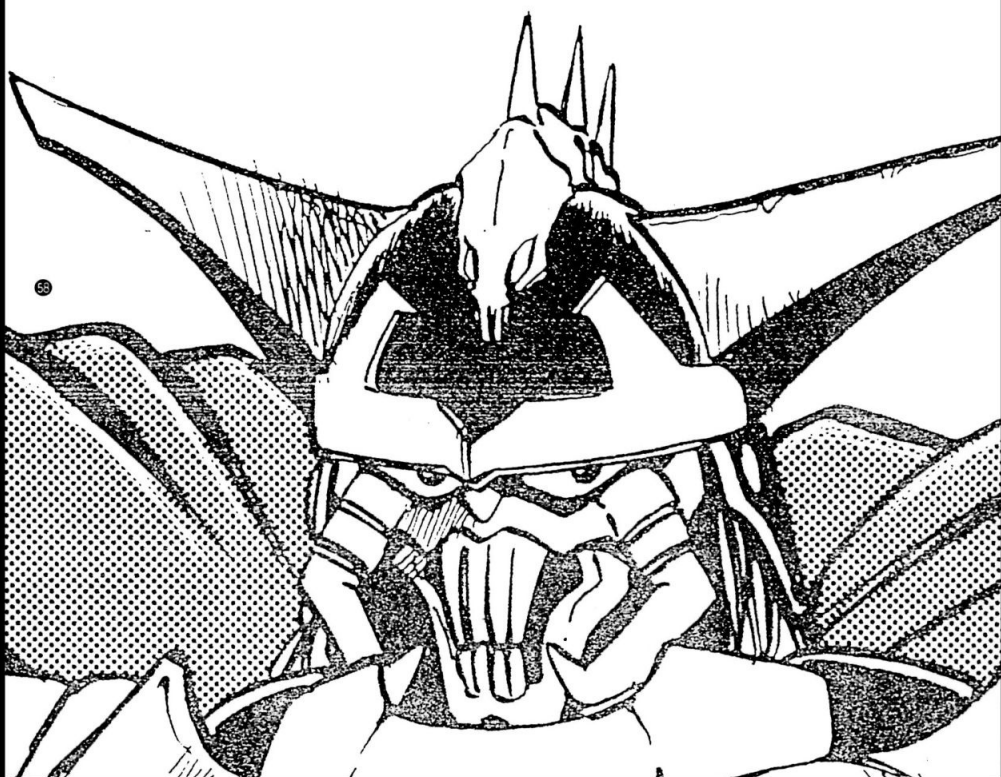
おぬしたちの活躍は、この「真実の目」でしかと見た!

そして、おぬしたちならルーンファウストの野望を止めてくれると確信した。

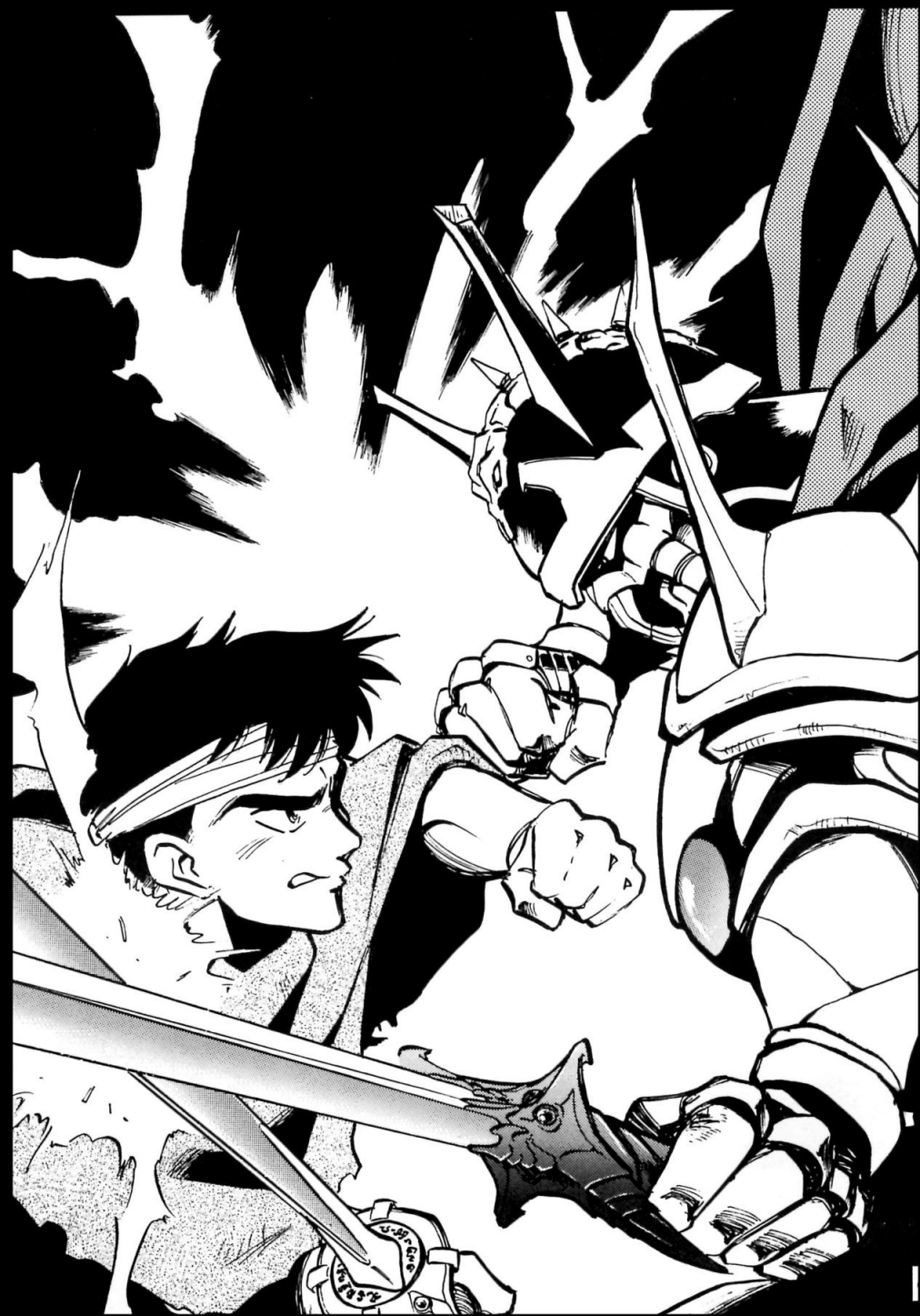
わたしの船をやろう。障壁をやぶれる、魔法船をな。



このまんがが一番好きなの  
「ぶるんぶるんゆれてます 117!」  
のんきでいーよわ







フフフ…

わが名は、  
暗黒の騎士  
ギガ・カイン。

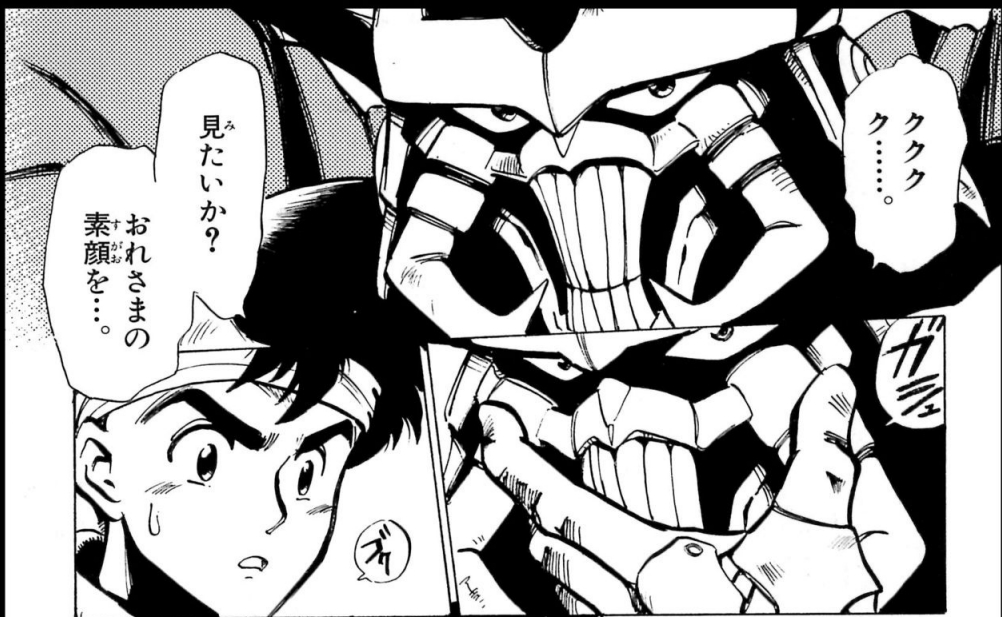
死ね!!  
メガ・マックス。

おまえは  
何者だ。

おれの  
過去を  
知っている  
のか!?

その仮面を  
とって  
答えてくれ!





お、おれの  
顔……。

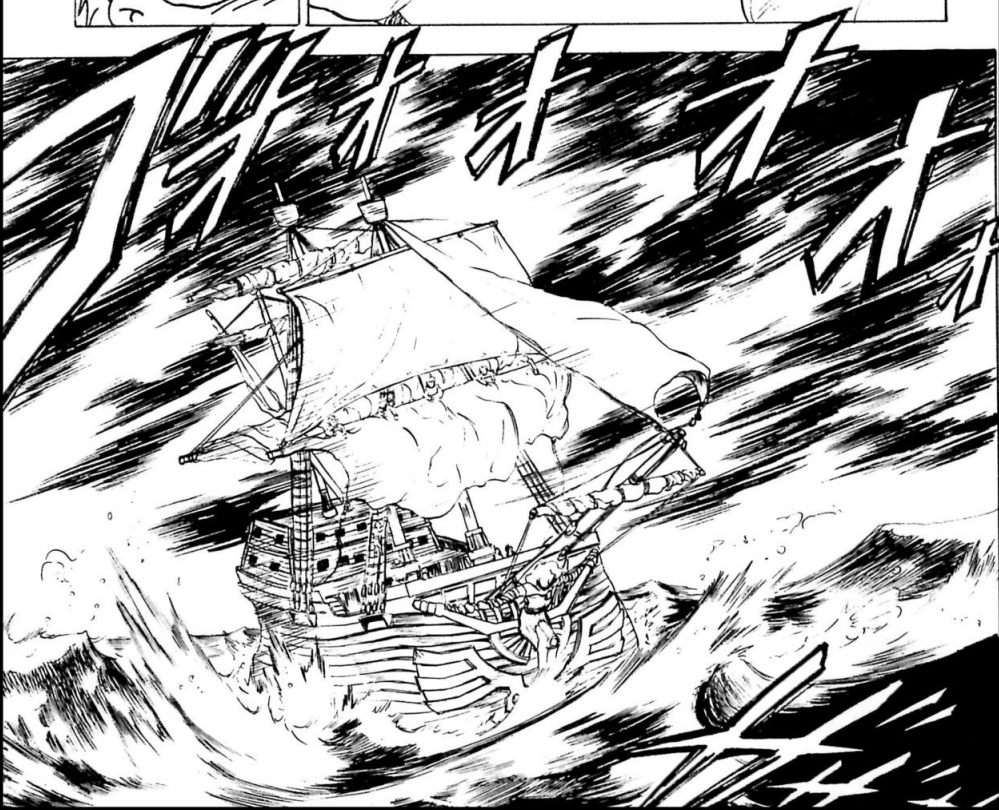
そうさ。

おれは  
マックスさ。

マックス  
なんだよ。



ゆめか……



さっきまで  
あんなに  
晴れてた  
のに！

ルーン  
ファウストの  
しかけた  
魔結界に  
はまった  
らしい！

あゝつ、  
あぶない、  
タオさん！

きゃー

あ、  
ありがとう  
マックス……

マッ、  
マックス……

なん  
ですか？  
タオさん。

ム……ムネ。

ああつ、  
ご、ごめん  
なさい！







かいていしんでん  
海底神殿!?

うしは...



ようこそ  
メガ・マックス。

！

だれ？

わたしは  
この神殿で  
あなたを  
待ち続けて  
いた者です。

人魚を  
つかって  
あなたを  
呼びました。

おれを？

あなたに  
託された  
使命を  
伝える  
ために…。

！！

…

あなたたちが  
「神々の遺産」  
と呼ぶ物…。

それは、  
千年前  
勇気ある者たち  
によって  
永遠に封印された  
悪しき力  
なのです。

その封印を  
ルーン  
ファウストは  
解こうと  
しているのです。

しかし、  
悪しき力を  
よみがえさせる  
には、ふたつの物  
が必要なのです。

それは  
いったい？

ひとつは  
封印を  
解くための  
カギ…。

もうひとつは  
悪しき力を  
操る法が  
記された  
秘伝の書です…。


そして  
あなたの  
使命  
とは…。

悪しき力から  
この世界を  
守ること！

あなたは、  
そのために  
この世に  
生まれたのです。

さあ、  
そこにある  
剣を  
とりなさい。

それは、  
あなたの  
ために  
つくられた剣。



ひかり  
つるぎ  
光の剣です。

そして、  
秘伝の書は  
ドラゴニアの  
聖神殿に  
あります。

急いで  
ください。

すでに  
ルーン  
ファウストは  
動きだして  
います。

ちよ、  
ちよっと  
待って  
ください。

いきなり  
いろんなこと  
いわれても！

あなたなら  
知って  
いるんでしょ？

おれの過去を！！







見て。海底に  
巨大などうくつ  
が見えるわ!!

じゃあ  
マックスは  
そこへ?

みるろ!  
魔結界に  
道が  
できていくぞ。

どーゆーことだ。



マ  
ダ

カインを  
助ける...!?

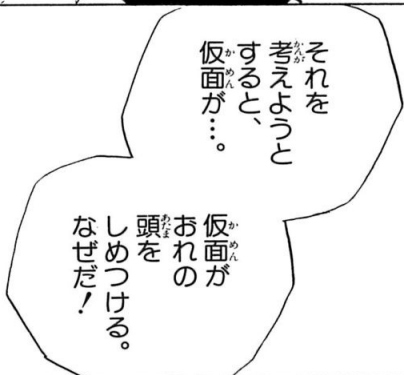
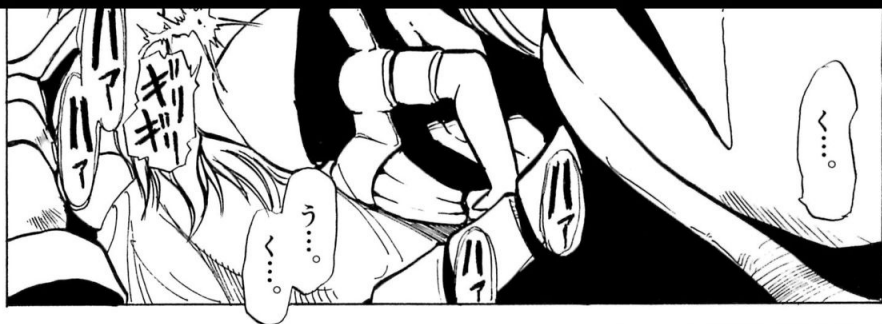


東の大<sup>ひがし</sup>陸<sup>たいりく</sup>  
コンガ<sup>コン</sup>地方<sup>が</sup>  
上空<sup>じやうくう</sup>！

オ  
ン

お部屋<sup>へや</sup>で  
おやすみに  
なられて  
います。

カイン  
さまは？



本国からの  
通信です。

「昨日  
ルドル地方にて  
一隻の魔法船を  
発見。」

「情報によると  
乗員らは  
ドラゴニアへ  
むかったと  
思われる。」

「貴艦は  
ドラゴニアへ  
向かい  
乗員を  
発見しだい  
殺せ。」以上。

フッ

魔法障壁を  
越えて  
この大陸に  
わたってきた  
バカがいる。

そんなやつは  
一人しか  
いない…。

マックスだ。

ドラゴニアか…。  
あんな  
古い国に  
何の用があるか  
知らんが…。

やつの  
始末は  
おれの手で  
つけてやる。

くっくくくつ。  
面白い！

艦を  
まわせ！

ドラゴニアへ  
前進全速！！



ほんとう  
本当さ……。

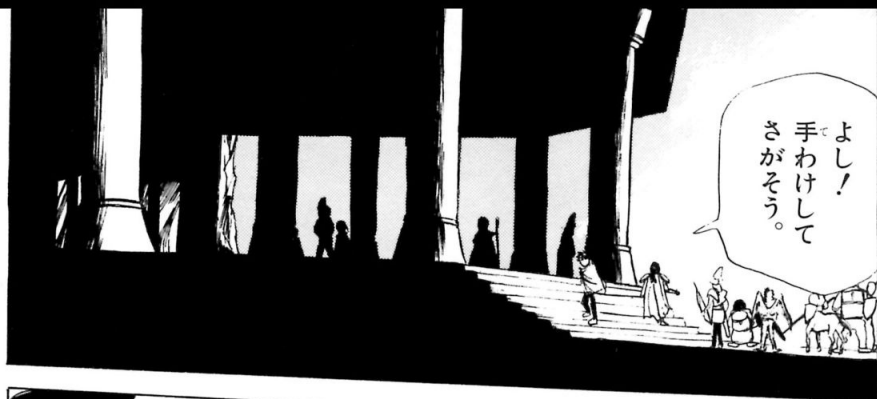


マックスが  
聞いた話が  
本当なら。

秘伝の書は  
絶対に  
ルーン  
ファウストに  
わたすわけに  
いかない。



……  
マックス。





何を  
言ってる？

まあいい。  
あとで  
きさまの  
仲間にも  
聞か。

しまった！  
秘伝の書は  
すでに  
おまえたちの  
手に！？

ギガ・  
カイン！

この前  
言っ  
はすだ。

なにつ。

今度  
会った時が  
きさまの  
最期だ。



おそらく、  
この扉の  
むこうに  
秘伝の書が  
あるに  
ちがいない。

だめだ！  
魔法を  
使っても  
この扉は  
あかないよ。

この  
神殿ごと  
壊さない  
かぎり  
無理ですわね。



ラグさん、  
大変です。

マックス  
さんが！

ルーン  
ファウストの  
兵士と  
戦って  
ます！



待ってくれ、  
カイン！

うるさい！  
きさまを  
殺せば、

おれは  
この  
苦しみから  
逃れられ  
るんだ！



兄ちゃん!!

マックス!!

あぶない、  
さがつてろ!





カ  
ラ  
ン



この子  
だけは  
助けて  
くれ。

おねが  
いだ、  
カイン！



おろかな  
やつめ！

つまらん者  
のために  
勝負に  
負けたな、  
マックス。

フン。



義弟の  
命だけは  
助けてくれ！！

おとうと  
……？



この子は  
……。

おれの  
義弟  
なんだ！



血迷ったか  
マックス。

おとうと  
**弟!?**

弟……  
弟……

そうだ!  
おれにも  
弟が  
いた!!

弟の名  
は……

弟の名  
は……







マックス  
...

マックス  
...

弟!!  
お兄ちゃん

わが弟よ...  
お兄ちゃん

マックス...

大丈夫か、  
マックス。

ああつ、  
マックス  
そっくり!!

カイン…  
あなたは  
おれの  
兄さん!?

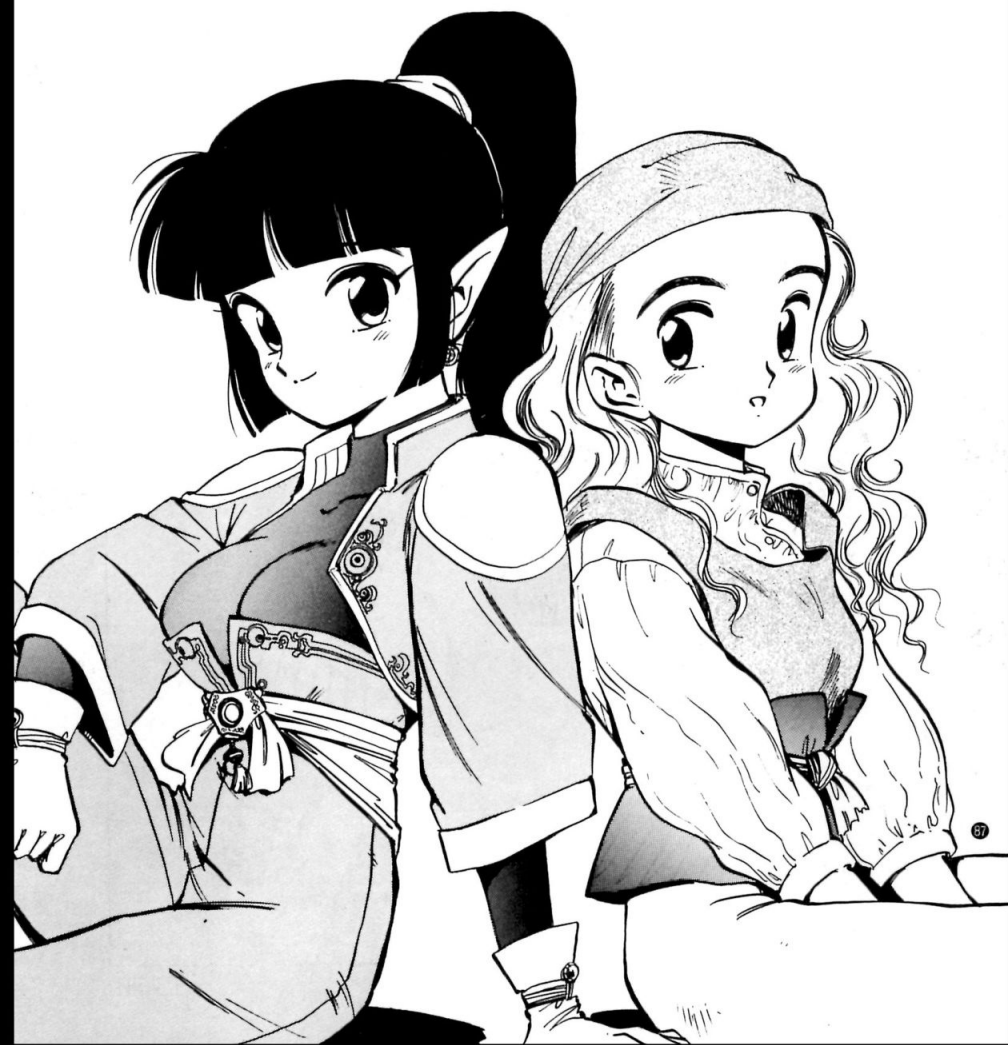
そうだ。  
おまえも  
記憶を  
なくして  
いたん  
だったな。

すまん  
マックス  
…。

おれは、  
仮面に  
意識を  
支配  
されていた。









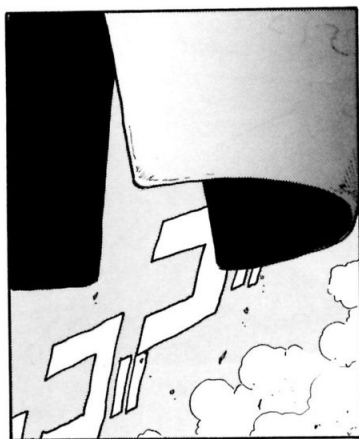
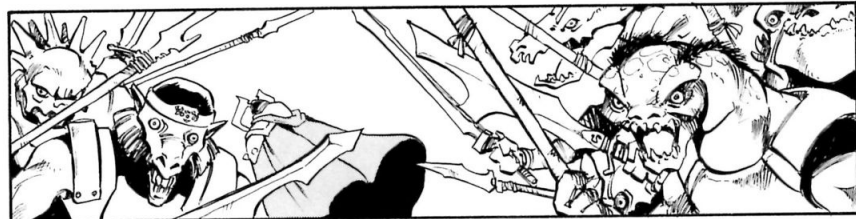
ついに  
手に入れたぞ！  
秘伝の書を！！

はっはっはっはっ。



きさまに  
それは  
渡さん！

ダークソル  
かくご  
覚悟お!!



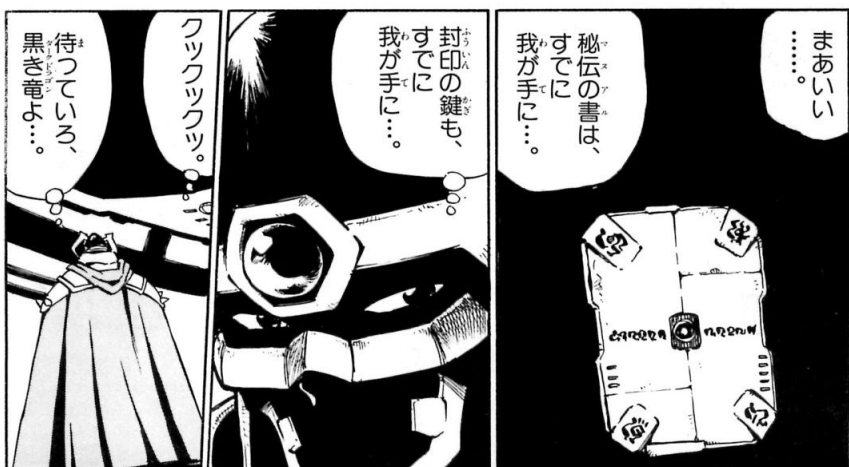
ザコども！

どけえ!!



おれの船で、  
後を追うんだ！

ダークソル  
め！



マックスは、  
そっちを  
たのむ!

はい。

なぜ  
でしょう。

こんな  
古代呪器  
はじめて  
見るのに。

手が  
かっ  
てに  
……。

記憶は  
なくして  
いても、  
体は  
覚えてる  
んだな。



おれたち  
兄弟は、  
擬似魔法の  
高位技術者  
だったのさ。

千年も  
前の話だ。



おれたちは、  
あいつ……。

ダークソルの  
野望を  
打ち砕くために、  
千年の時を  
越えてきたんだ。

千年  
前!?

そうだ!





今から  
千年  
前…

疑似魔法による  
世界大戦が  
激化しつつ  
あるころ…



魔法工学の  
権威ベガ・  
ダークソルは、  
究極の  
破壊兵器を  
完成させた。

それこそは、  
全世界を焼き、  
古代人類を  
滅亡へと  
おいやつた  
元凶…

ダークドラゴン  
**黒き竜!!**

きみたちが、  
「神々の遺産」  
と呼ぶ  
悪しき力。





「ダークソルは、暗黒魔法の狂信者でもあった。」

「暗黒魔法とは、破壊神と盟約を結ぶことで強大な力を得る、邪教徒の魔法のことだ。」



「さいわい、勇者の犠牲によって黒き竜自体は封印に成功した。」



「黒き竜は、まだ死んではいない。」

「ドラゴンの中枢部は強力な結界に守られていて、破壊はできなかった。」



「計算によると、結界の消滅まで約千年……」



「黒き竜を完全に破壊するまで千年も待たなければならぬ。」

「その間も、黒き竜は千年の時をかけて、傷ついた体をいやしている。」



「おれたち兄弟は、黒き竜の復活をふせぎ、完全に破壊するために眠りについて……」





そして、  
現在――。

どこからか、  
ダークソルは  
現れた。

おそらく、  
おれたちと  
同じように  
眠りに  
ついていた  
んだろう。

やつは、  
預言者を  
装い、国王に  
近づくと、  
あつという間に  
国の実権を  
握るまでに  
なった。

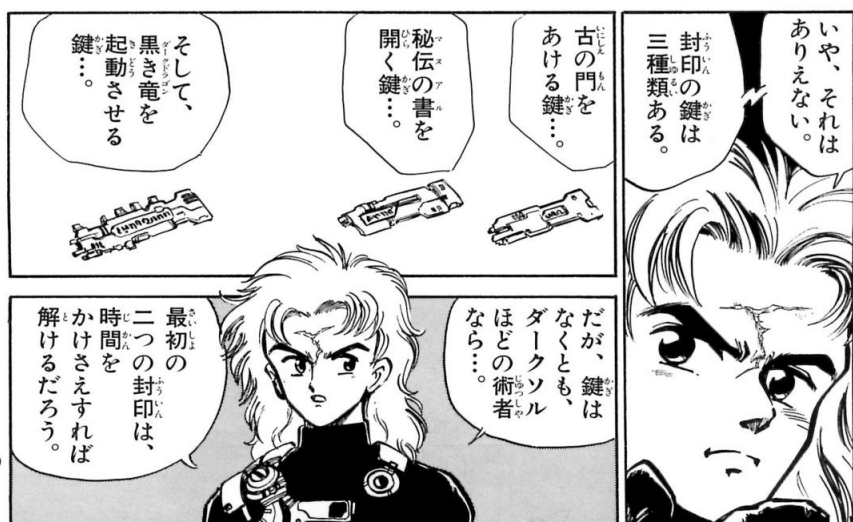
そして、  
軍を使い、  
封印の鍵と  
秘伝の書を  
探させた。

その過程で、  
おれたちの  
シエルターを  
みつけたん  
だろう。

運よく  
覚醒できた  
おれは、  
マックスを  
逃がすことは  
できたが、

やつに  
つかまって  
しまい……

仮面を  
つけられ、  
やつの手先に  
なっていた……





プロンプト  
遺跡——



地下12階



しかし、  
千年たった。

魂に  
刻まれた鍵は、  
その娘といつしよに  
あの世へ行った。  
永久に  
手に入らん…。

たのむ！  
残ってて  
くれ。

それで  
いい！

対  
暗  
黒  
魔  
法  
剣  
カオスブレイカー  
製造機!!

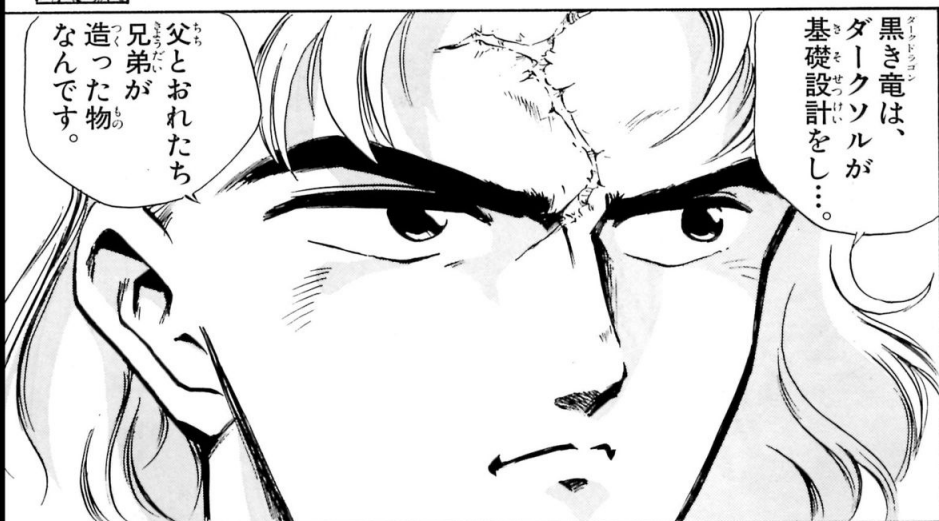
マックスの持つ  
煌生成の  
光の剣と…。

おれの持つ  
闇生成された  
漆黒の剣…。

この二つが  
一つになったとき、  
黒き竜を倒せる  
唯一絶対の最強剣、  
カオスブレイカー  
が誕生する!!







だまされて  
いたんです、  
やつに……。

父は、  
それを知ると  
命をかけて  
黒き竜を  
封印しました。

そして、  
母がこの  
復活阻止  
プロジェクトの  
責任者に  
なっただんです。

……、  
そうだった  
のか。

だからこそ!!

おれたち  
自身の手で、  
やつを倒さな  
ければ  
ならないん  
です!!

では、  
最後の鍵を  
持つもう一人  
とは？

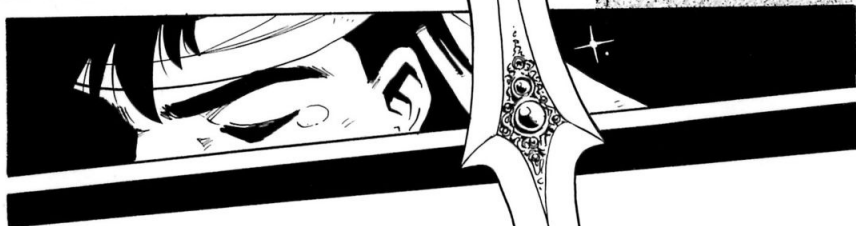
それは……。



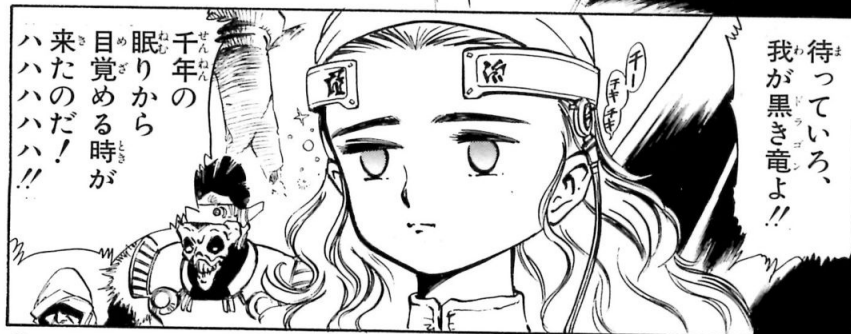




兄さん!!




同時刻、  
古の城  
(東門)。  
—










古の城  
地下神殿——

究極の破壊神、  
黒き竜よ!!

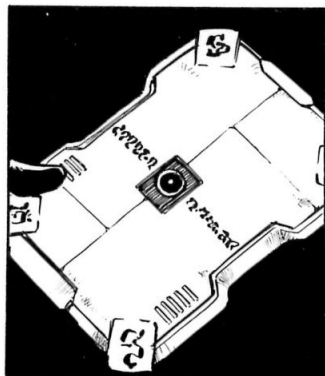


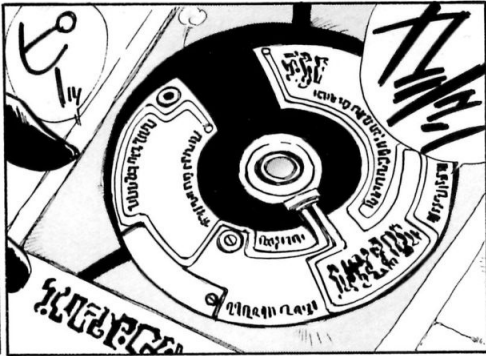
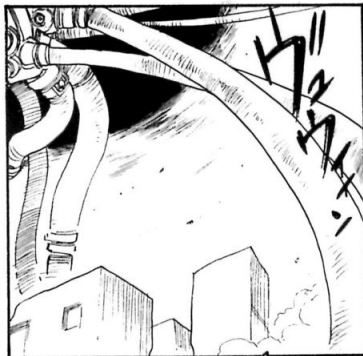
フハハハハ、  
聞こえるぞ  
おまえの心臓が  
脈うつ音が!



さあ、  
はじめよう！  
黒き竜  
復活の儀式を。

奏でよう！  
世界を  
破滅へと導く  
前奏曲を！





第2の封印も  
解かれた！

おおつ、  
黒き竜へ  
邪悪なる力が  
集まってく！

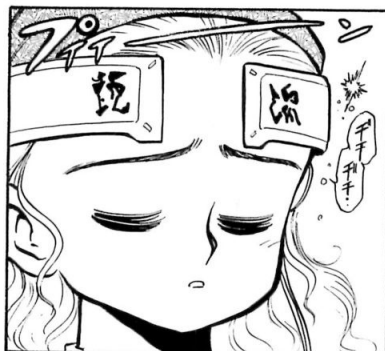
再び  
おまえは  
力を得た！

オオオオオオオ

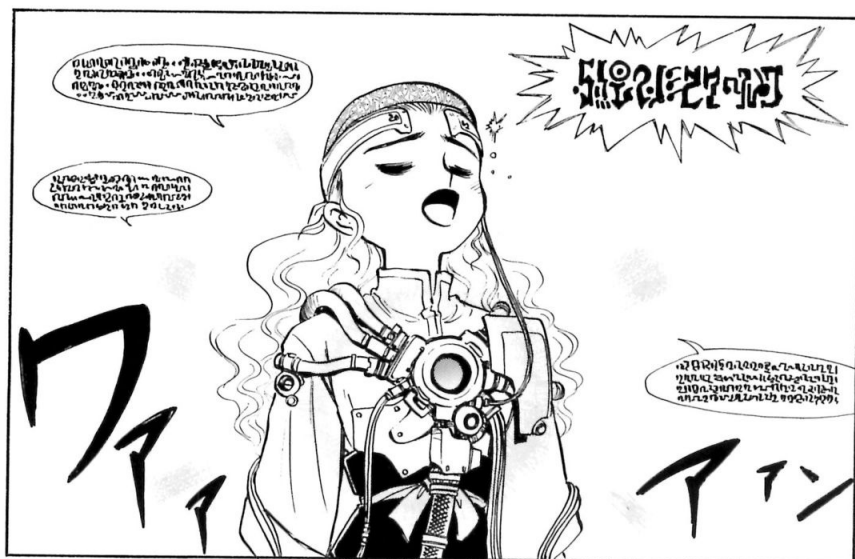
あとは  
黒き竜！  
おまえが  
目覚める  
だけだ！！

最後の  
封印の鍵を  
ここへ！

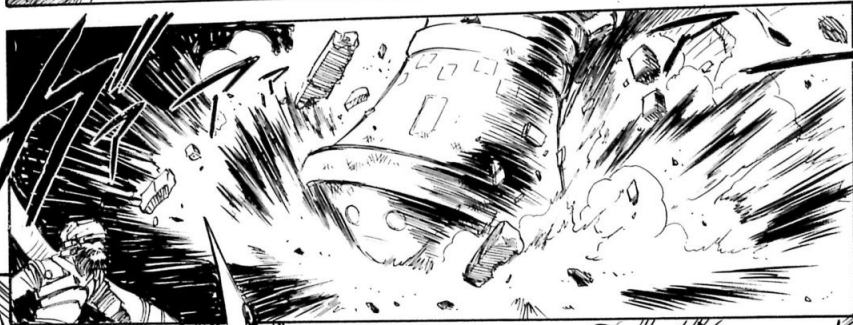




その魂に  
刻まれた  
封印の鍵を  
今ここに...







ベガ・  
ダークソル!!

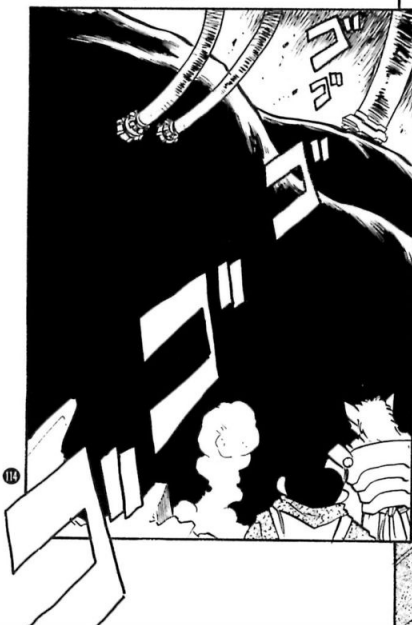
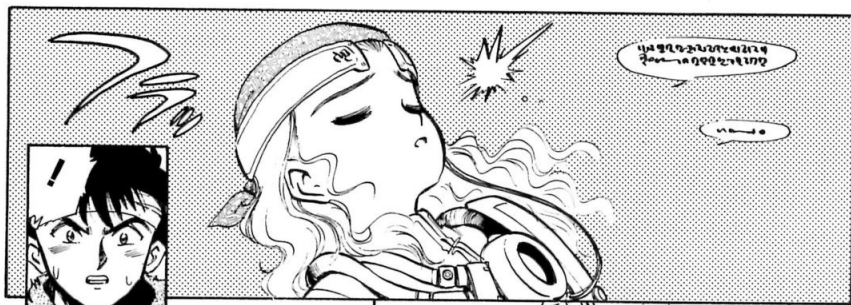
そこまで!  
黒き竜は、  
絶対に  
復活させない!!





遅いわ!  
呪文の詠唱は  
もう終わる!

10分後には、  
さきまたちは  
復活した  
黒き竜の  
生贄と  
なるのだ!



なぜ  
ルウさんが  
こんな所に!?



ルウさん!!

姉ちゃん。

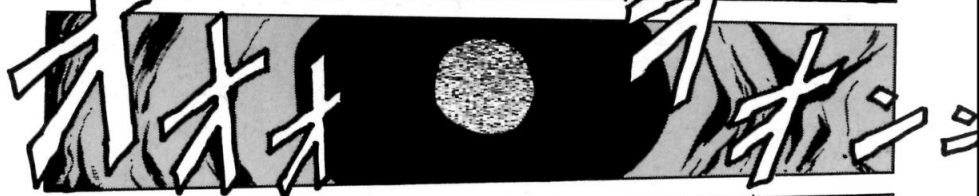


封印システムが  
解除されました。

黒き竜の  
完全覚醒まで  
600秒。

ただちに  
再封印、  
もしくは  
避難を  
はじめて  
ください。

くりかえし  
ます…。



やつめ！  
最後の封印を  
解いたのか！

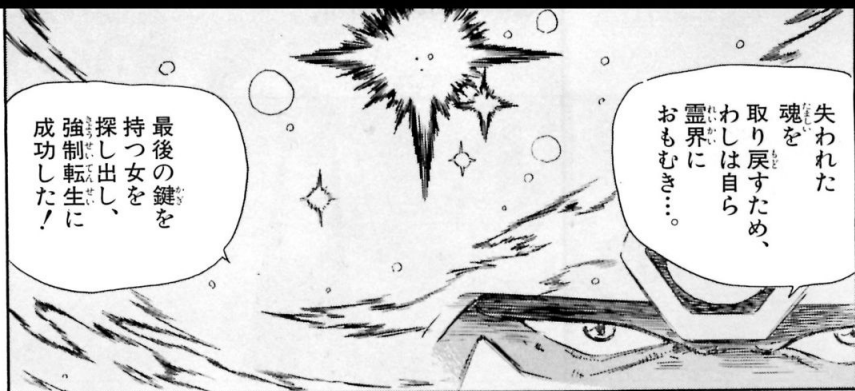
どうやって！？  
不可能なはず  
じゃないの！？

ダークソル！！

きさま、  
転刻生の  
秘術を  
使ったな！！

いかにも！！





失われた魂を、取り戻すため、わしは自ら霊界におもむき……

最後の鍵を持つ女を探し出し、強制転生に成功した！



この日のためにな！

ガーディアナに生まれおちたその女を、わしは、影からずっと監視していた。



ルウさんが……

それがこの女だ！



考えたね。魂に刻まれた物は他人には取り出せない。本人の意思が拒むからね……

その点、転生された魂は、前世の記憶を失くしているだけ、術者には扱いやすい。



くつくくつ。暗黒魔法ゆえにできた術だ。

わかってもらえたかな、暗黒魔法のすばらしさが。



カインと  
マックス。  
マックスと  
その女。

魂の絆が  
呼び合う  
奇跡に！



もともと、  
マックスが  
その女と  
出会ったと  
わかった時は、  
さすがに  
わしも  
驚いたがな。

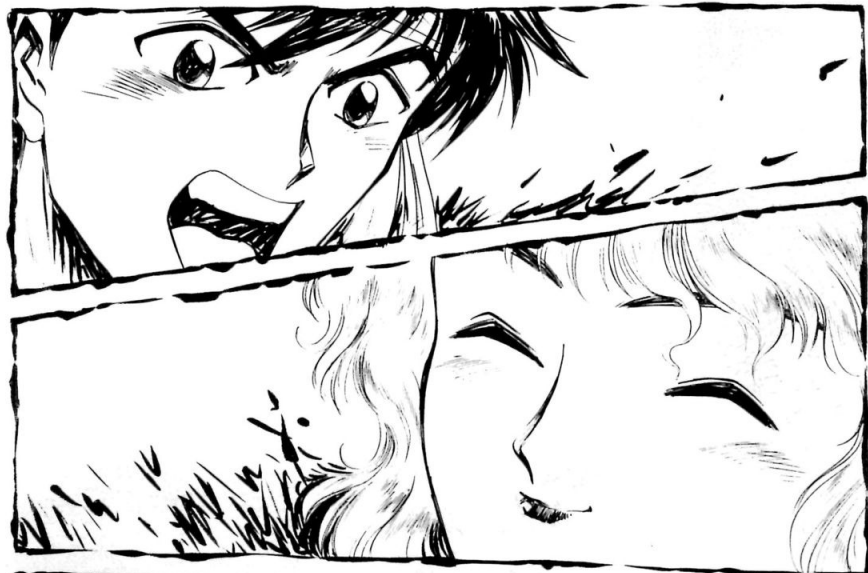


おまえの  
妻のことを！！

忘れたか、  
マックス。  
千年前、  
最後の封印の  
鍵を魂に  
刻んだまま  
死んだ女のことを！！









再び封印は不可能となりました。

再び封印は不可能となりました。

そろそろ  
逃げたほうが  
いいんじゃない  
のかな？

1時間後には、  
全世界が  
炎に  
包まれて  
いるがね！

は、は、は、は、は



もはや、  
われわれに  
うつ手は  
ないのか！



ルウさんを  
たのみます！

みなさんは  
早く船で  
脱出して  
ください。

マックス…



待てよ  
マックス、  
きさま  
一人で  
残る気じゃ  
…。



大丈夫です  
おれには  
対暗黒魔法剣  
があります。

早く  
脱出して  
ください。  
マックス！！



早く  
行けって  
いってんだよ！

これは、  
おれとやつとの  
戦いだ！

誰にも手は  
出させない！！



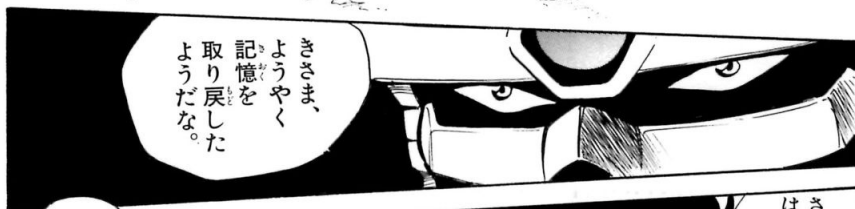
マックス。  
マックス。



黒き竜  
完全覚醒  
まで  
あと30秒。



大気圏外  
への  
脱出を...

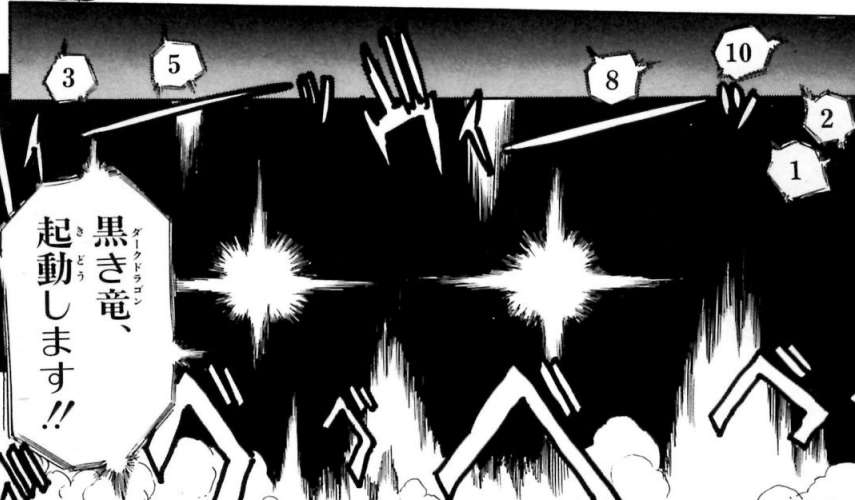


ぎさま、  
ようやく  
記憶を  
取り戻した  
ようだな。



さあ  
はじめようか。

ダーク  
ソル。



黒き竜、  
起動します!!









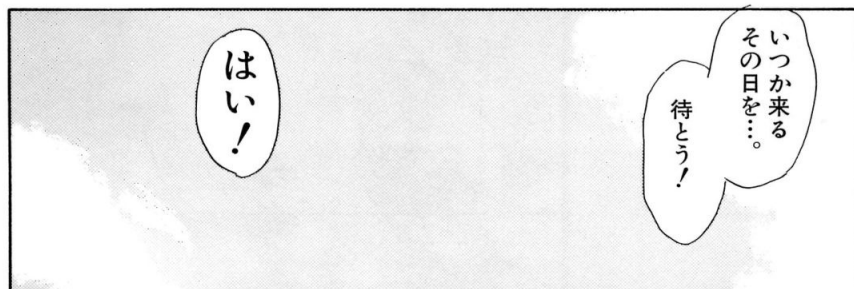
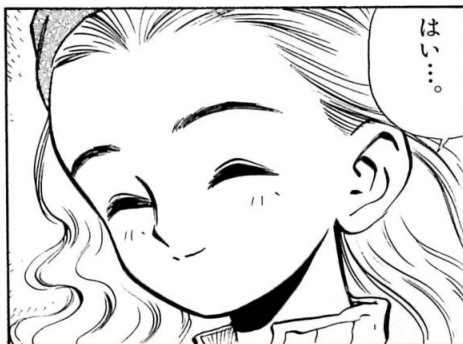
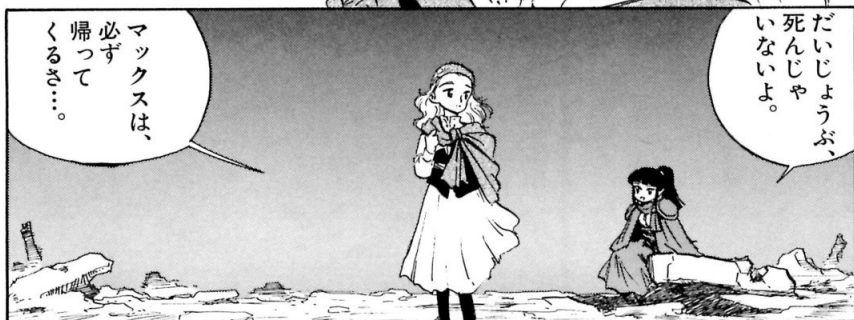
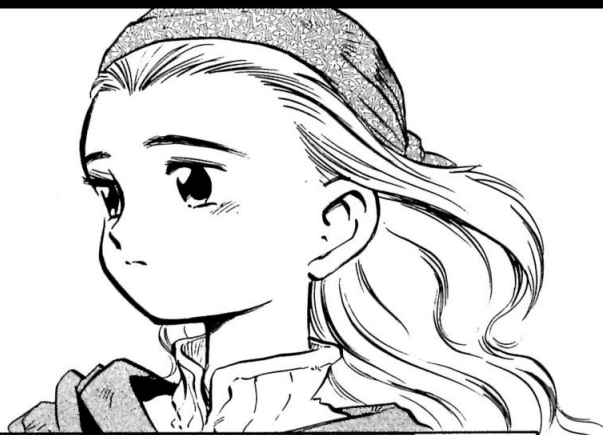


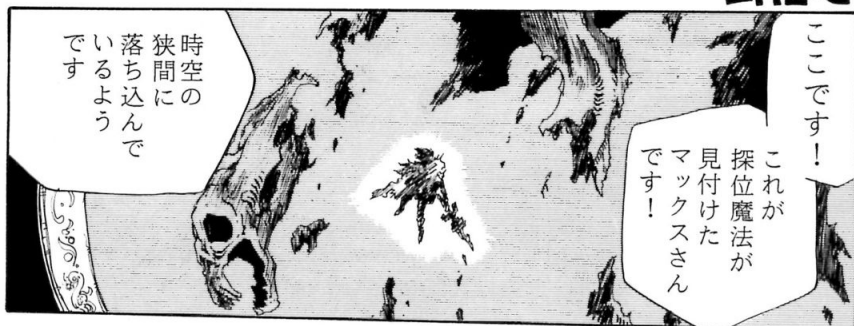


それから、  
7日7晩が  
すぎ……。

世界を  
闇に包む  
嵐は去った  
……。

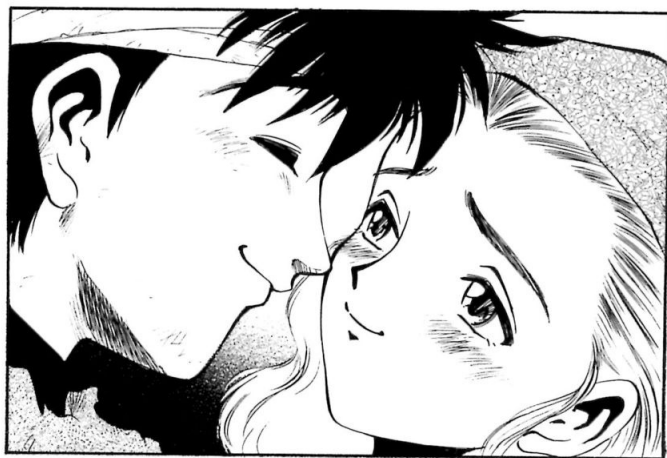




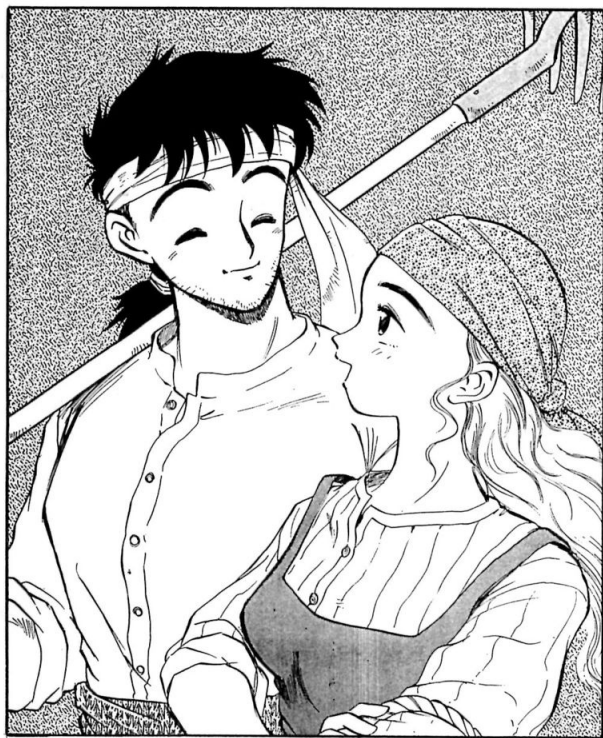








完



# まどがき



このまんがは「小学5年生2年3月号」「小学6年生2年4月号～8月号」に連載されていた「シン・マクス正伝 聖剣士MAX」をまとめたものです。当初は40Pとして単行本になるはずだったのですが、異動で担当がいなくなるとともに、その話もどこかへ消えてしまい……。うう……でも、タオさんのデザインを田沼雄一郎先生が使ってくれたり(徳間版)GAMEのシナリオを書いた和智正喜先生と今「GAMEON」で仕事をしたりと、なにかと印象深い作品なのであります。

**まどがき**

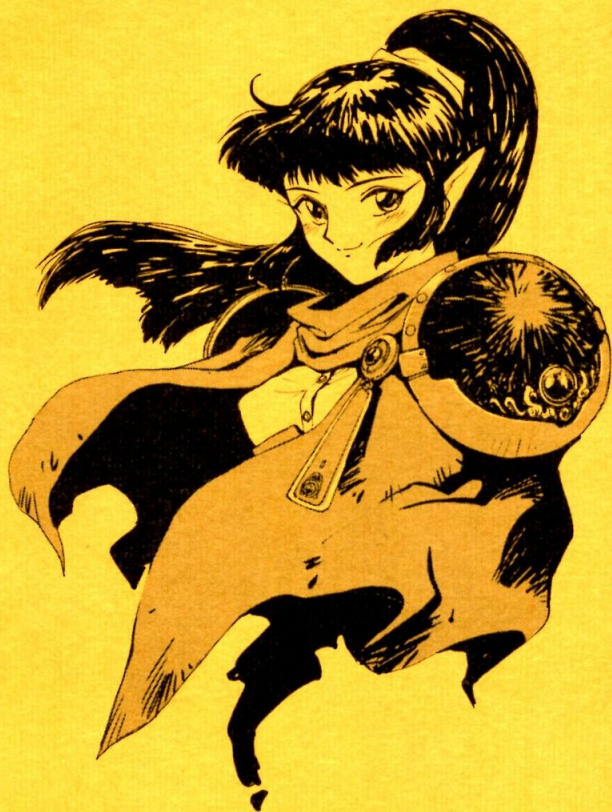
発行・GAME DOME 晴海店

発行日・1994年12月30日

印刷・PICO

本ページではごにながした  
MAXのおくさんの名前  
**セガ・ルール**

別に  
セガ・サローン  
でもいいや



SHINING FORCE